

フランス・フォルシア社との自動車内装部材用バイオプラスチックの共同研究開発について

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：石塚 博昭）は、このたび、Faurecia（本社：フランス・パリ、社長：Yann Delabrière、「フォルシア社」）と、自動車内装部材に使用するバイオプラスチックについて、共同研究開発を進めることで合意しました。

両社は2014年をめぐりに、自動車内装部材に適した性能を有し、かつ植物原料を用いたポリブチレンサクシネート（「PBS」）の開発を目指します。

フォルシア社は連結売上高世界第6位の自動車部品メーカーで、自動車の内装システムにおいて世界屈指の技術を有しています。

同社は、燃費向上のための軽量化や、部材リサイクル率の向上など、欧州をはじめとした自動車産業における環境配慮政策に対して率先した取り組みを行っており、特に内装部材に関しては、使用するプラスチックの大部分を植物原料由来へ代替することを目指しています。

三菱化学は、石油化学製品の製造で培われた高度なプロセス技術と、多様な高機能樹脂ラインナップに基づく幅広い応用技術を用いて、バイオプラスチックの一種であるPBS（三菱化学登録商標「GS Pla®」）の製造・マーケティングを行っています。また、PBSの原料であるコハク酸を植物原料化したPBSの開発も行っており、多数の有力な特許を用いて、植物原料由来PBS分野における極めて強力なポジションの構築を進めています。

そのため、PTT Public Company Limited（本社：タイ・バンコク、総裁：Pailin Chuchottaworn、「PTT社」）と折半出資子会社のPTT MCC Biochem Company Limited（本社：タイ・バンコク、社長：Worawat Pitayasiri、「PTT MCC バイオケム社」）を設立しており、2015年を目標に、タイに年産2万トンのPBSプラントを建設する予定です。

植物原料由来のコハク酸については、そのパイオニアであるBioAmber Inc.（本社：カナダ・モントリオール、社長：Jean Francois Huc、「バイオアンバー社」）と提携し、いっそう高効率な製造プロセスの確立を目指しており、2015年にタイで稼働する年産2万トンのPBSプラントでも、原料としてこのコハク酸を使用する計画です。

三菱化学が属する三菱ケミカルホールディングスグループは、2025年をめぐりに、既存の石油由来原料の消費量の20%相当を植物由来に転換することを目指しておりますが、フォルシア社とのバイオプラスチック共同研究開発提携による自動車分野での本格的な実用化も契機として、サステナブルリソース事業をいっそう推進してまいります。

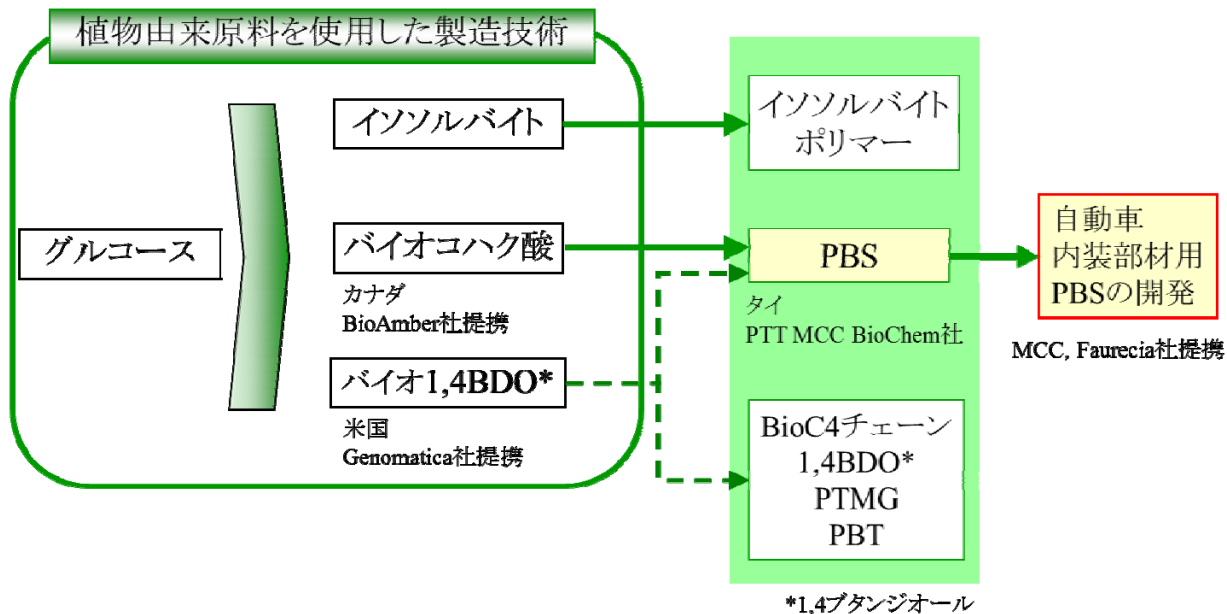
以上

【本件に関するお問合せ先】

(株)三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室

Tel: 03-6748-7140

三菱化学のサステナブルリソース事業について



Faurecia

フォルシア社は、世界第6位の規模を誇る自動車部品メーカーであり、自動車用シート、エミッション・コントロール・テクノロジー、インテリア・システム、エクステリアの4つの主要分野に特化した事業を展開しています。2011年のグループ売上高はおおよそ162億ユーロ（225億ドル）であり、2011年12月末現在世界33ヶ所に270の事業所と40の開発拠点をもち、84,000人の従業員を有しています。Faurecia社は、NYSEユーロネクスト・パリ証券取引所に上場しています。

フォルシア社HP: www.faurecia.com

PTT Public Company Limited

PTT社はタイにおける最大の企業であり、天然ガス田の開発、石油精製、石油化学事業をタイ国内外にて展開しています。また、現在タイにおいて国家政策として拡大を図っているバイオ燃料、バイオポリマー等バイオ関連事業についても力を入れています。

PTT社HP: www.pttplc.com

PTT MCC Biochem Company Limited

PTT MCC バイオケム社は、PTT社と三菱化学の合弁会社であり、出資比率各50%で2011年3月30日に設立されました。2012年よりタイ国ラヨーン県マプタプット地区に年間2万トンの生産能力を有するPBSプラントを建設し、2015年の商業運転開始を予定しています。プラントの立ち上げとともに植物原料由来のコハク酸を使用する予定ですが、将来的にはもう一方の主原料である1,4-ブタンジオール（1,4BDO）についても植物由来原料を使用してゆく予定です。

BioAmber Inc.

バイオアンバー社は次世代の化学品メーカーです。バイオアンバーは再生可能資源から化学品を生産するための工業的発酵技術、革新的な精製技術、および触媒を組み合わせた独自の技術プラットフォームを保有しており、この技術群によって製造する化学品を、プラスチック、食品添加物、パーソナルケア用品を含む幅広い製品へ応用することを目指しています。またバイオアンバー社は、世界最大のバイオ化学品生産設備でコハク酸を製造し、販売を行っています。

バイオアンバー社HP: www.bio-amber.com